

【参考資料】

復興・被災者支援に関する領域の評価ツールセット  
(子供の健全育成分野)

平成 31 年 3 月

## 【参考資料】

### 1. ロジックモデル

本評価ツールが対象とする「子供の健全育成」分野の事業は、不登校や被災時の苦しみなどを抱える子どもたちやその母親や女性等に対して支援する取組が含まれます。

具体的には、被災によって苦しみを抱える子どもたちを含む全ての子どもたちが学んだり、癒したりする場を提供したり、子どもの生活面をサポートしたりすることにより、子どもたちが健全に育つことを目指しています。また、子どもへの支援とともに、被災した環境の中で、子育てに悩む母親の生活やメンタル面でのサポートをして、子どもが健全に育つことを目指すケースもあります。そこで、図1のロジックモデルの一例では、子どもの健全育成の最終目標を「子どもが健全に、幸せに暮らせる」と設定しています。

#### ロジックモデル案

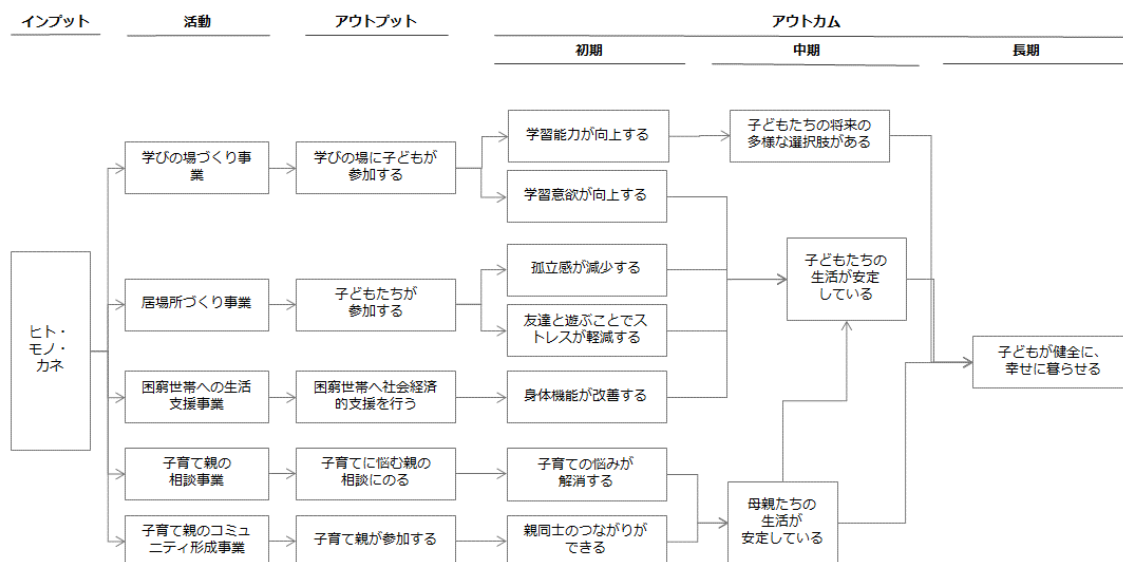


図1：子供の健全育成分野のロジックモデルの一例

ロジックの内容としては、まず活動のアウトプットの成果として初期アウトカムが現れますが、ここでは「学習能力が向上する」「学習意欲が向上する」「孤立感が減少する」「友達と遊ぶことでストレスが減少する」「身体機能が改善する」と「子育ての悩みが解消する」「親同士のつながりができる」の7つを抽出しています。これらは、子どもに係る5つのアウトカムと子育て中の母親に係る2つのアウトカムからなります。

次に、初期アウトカムが生じた結果（多くの場合、それが繰り返して生じた結果）として中期アウトカムが現れますが、ここでは「子どもたちの将来の多様な選択肢がある」「子どもたちの生活が安定している」「母親たちの生活が安定している」を設定しています。

さらに、事業の最終目標となる長期アウトカムは、初期・中期アウトカムの延長線上に位置し、「子どもが健全に、幸せに暮らせる」と設定しています。

## 【参考資料】

### 2. 成果指標（評価指標）

1. のロジックモデルに基づき、表 1 のような成果指標の導入が考えられます。

表 1：子供の健全育成分野の成果指標（評価指標）の一例

種類	評価項目	指標
初期	学習能力の向上	「学力が向上した」と回答する割合
	学習意欲の向上	「学習が楽しくなった」と回答する割合
	孤立感の減少	「孤立を感じなくなった」と回答する割合
	ストレスの減少	「ストレスを感じなくなった」と回答する割合
	身体機能の改善	「体調がよくなった」と回答する割合
	子育ての悩みの解消	「子育ての悩みが軽減した」と回答する割合
	親同士のつながり	「親同士のつながりが増えた」と回答する割合
中期	子どもたちの将来に対する多様な選択肢	「子どもたちの進路の多様になった」と回答する割合
	子どもたちの生活の安定	1) 就学援助を受けている小中学生の割合 2) 「経済的に生活が安定している」と回答する割合
	母親たちの生活の安定	1) 生活保護を受けている小中学生の割合 2) 「経済的に生活が安定している」と回答する割合
長期	子どもが健全に、幸せに暮らせる	「幸せである」と回答する割合

## 【参考資料】

### 3. 測定方法

これらの成果指標に対して、表 2 に示すような測定方法が考えられます。

表 2：子供の健全育成分野の測定方法の一例

種類	評価項目	測定方法
初期	学習能力の向上	子どもへのアンケート調査
	学習意欲の向上	子どもへのアンケート調査
	孤立感の減少	子どもへのアンケート調査
	ストレスの減少	子どもへのアンケート調査
	身体機能の改善	子どもへのアンケート調査
	子育ての悩みの解消	子育て親へのアンケート調査
	親同士のつながり	子育て親へのアンケート調査
中期	子どもたちの将来に対する多様な選択肢	子ども、子育て親へのアンケート調査
	子どもたちの生活の安定	1) 市町村データ 2) 子育て親へのアンケート調査
	母親たちの生活の安定	1) 市町村データ 2) 子育て親へのアンケート調査
長期	子どもが健全に、幸せに暮らせる	子どもへのアンケート調査

参考までに、表 2 に示した評価項目を測定するアンケート調査の例<sup>1</sup>を以下に挙げます。

#### ア) 学習能力の向上に関するアンケート

本取組によって、これまでより学力が向上したと思いますか？

1. 大変そう思う
2. ある程度そう思う
3. どちらとも言えない
4. あまり思わない
5. 全く思わない

#### イ) 学習意欲の向上に関するアンケート

本取組によって、学習することが楽しくなりましたか？

1. 大変そう思う
2. ある程度そう思う
3. どちらとも言えない
4. あまり思わない
5. 全く思わない

---

<sup>1</sup> 平成 28 年度実施の絆力事業の各取組の受益者等へのアンケート（取組に対する受益者の満足度等アンケート）を主な参考としている。

## 【参考資料】

ウ) 孤立感の減少に関するアンケート<sup>2</sup>

①孤立感や不安感が軽減された。

1. 改善した                      2. どちらかといえば改善した                      3. 変わらなかった  
4. どちらかといえば悪化した                      5. 悪化した

※「4.」または「5.」を回答された方は、その理由をご記入ください。

エ) ストレスの減少に関するアンケート

本取組によって、ストレスはどの程度軽減されましたか？

1. 大変軽減された    2. ある程度軽減された    3. どちらとも言えない  
4. あまり軽減されていない    5. 全く軽減されていない

オ) 身体機能の改善に関するアンケート<sup>3</sup>

②心身の健康改善につながった。

1. 改善した                      2. どちらかといえば改善した                      3. 変わらなかった  
4. どちらかといえば悪化した                      5. 悪化した

※「4.」または「5.」を回答された方は、その理由をご記入ください。

カ) 子育ての悩みの解消に関するアンケート

本取組によって、子育ての悩みはどの程度軽減されましたか？

1. 大変軽減された    2. ある程度軽減された    3. どちらとも言えない  
4. あまり軽減されていない    5. 全く軽減されていない

---

<sup>2</sup> 平成 28 年度実施の絆力事業の各取組の受益者等へのアンケート（取組に対する受益者の満足度等アンケート）

<sup>3</sup> 平成 28 年度実施の絆力事業の各取組の受益者等へのアンケート（取組に対する受益者の満足度等アンケート）

## 【参考資料】

### キ) 親同士のつながりに関するアンケート<sup>4</sup>

	増えて いない	少し 増えた	ある程度 増えた	とても 増えた
プログラム・イベントへの参加／施設の利用によって 地域内の友人・知人の数は増えましたか？	1	2	3	4

### ク) 子どもたちの将来に対する多様な選択肢に関するアンケート

以前と比べて、子どもたちの将来に対する選択肢が増えたと思いますか？

1. 大変そう思う
2. ある程度そう思う
3. どちらとも言えない
4. あまり思わない
5. 全く思わない

### ケ) 子どもたちの生活の安定に関するアンケート

以前と比べて、子どもたちの生活は安定していると思いますか？

1. 大変そう思う
2. ある程度そう思う
3. どちらとも言えない
4. あまり思わない
5. 全く思わない

### コ) 母親たちの生活の安定に関するアンケート

以前と比べて、皆さん（母親たち）の生活は安定していると思いますか？

1. 大変そう思う
2. ある程度そう思う
3. どちらとも言えない
4. あまり思わない
5. 全く思わない

### サ) 子どもが健全に、幸せに暮らせることに関するアンケート

以前と比べて、子どもが健全に、幸せに暮らせていると思いますか？

1. 大変そう思う
2. ある程度そう思う
3. どちらとも言えない
4. あまり思わない
5. 全く思わない

---

<sup>4</sup> G8 社会的インパクト投資タスクフォース国内諮問委員会「社会的インパクト評価ツールセット」